

千厩地区まちづくり協議会報

第20号
平成30年 9月25日 発行
事務局 千厩市民センター内
電話番号 TEL 52-2309

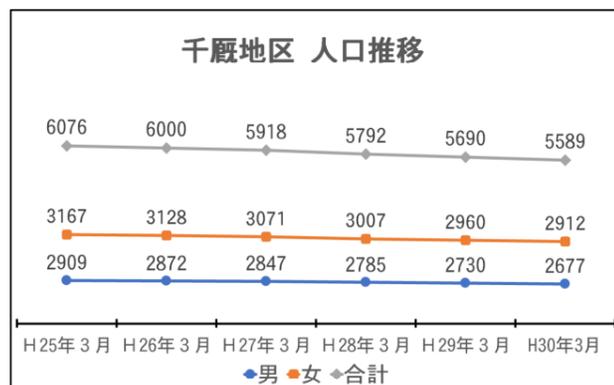
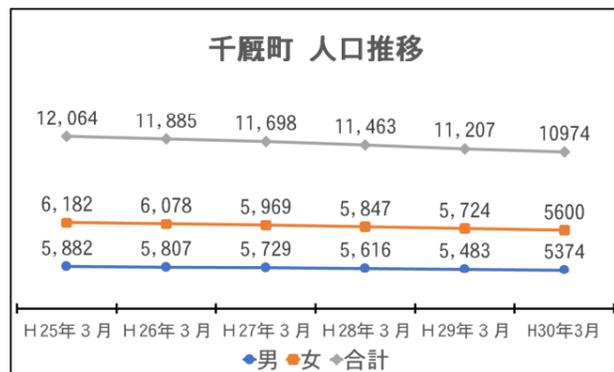
人口減少を考える

「一関市の人口・世帯数」が一関市ホームページで毎年公表されています。

これによると、千厩町の人口は平成25年から30年までの5年で、**1090人減**（女▲582人、男▲508人）、千厩地区では**487人減**（女▲255人、男▲232人）となっています。

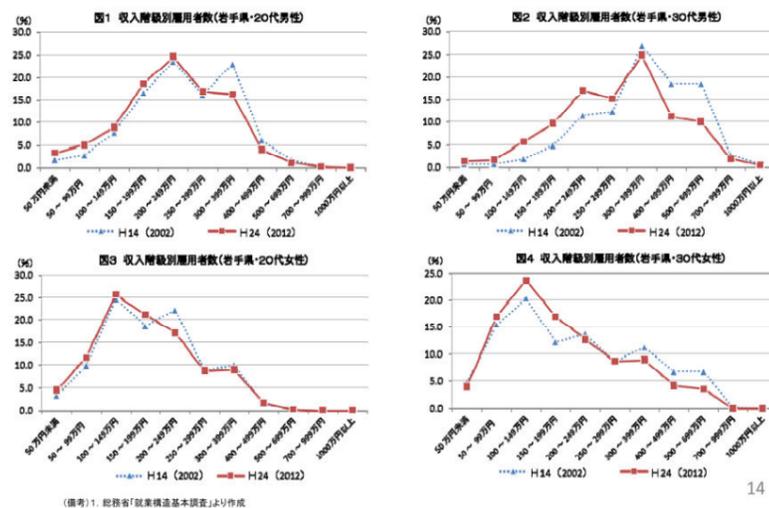
これらの減少要因は、ほとんどが「自然減少」（死亡数から出生数を引いたもの）によるものですが、このような傾向が続いていくと地域の存立が危ぶまれます。

人口減少問題への対応は待たなしの状況となっています。



13. 子育て世代の所得分布

- ・20～30代の子育て世代の所得分布は、10年前より低所得層にシフト。
- ・最も割合の高い収入階級では、女性の収入は男性より20代で100万円、30代で200万円少ない。



岩手県ホームページ
「岩手県の人口-『本県における人口の動向について』より引用」

また、岩手県の資料「本県における人口の動向について」（岩手県ホームページ-「岩手県の人口」）によると、**子育て世帯の所得分布（H14-H24）が、低所得層に移っていることが指摘されています。**

現代では「国民負担率（租税、社会保障）」が、30年前のS61年では**約35%**、H30年で**約42%**と負担は上がる一方、前述の通り所得は下がっている傾向にあります。『財務省ホームページ-国民負担率』よりデータ引用

東磐史学会 研究発表会・講演

地域の歴史調査などを行っている「東磐史学会」が主催し、当協議会が共催する研究発表会がこのほど千厩市民センターで開催されました。

発表者は畠山喜一さん(藤沢町)、千葉貞一さん、村上光一さん(以上千厩町)の3人。当日は70人ほどが参加し、「日本ハリストス正教会」の伝播や、「寛政一揆」、自由民権活動などで知られる「若生精一郎」についてなどの研究発表をしました。



なかでも、戊辰戦争から落ち延びた長岡藩士により日本ハリストス正教が伝播し、その信者であり東山町の石灰焼きをしていた畠山さんの祖父を宮沢賢治が訪ねてきたエピソードなど、地元にかかわる歴史の話に参加者は熱心に聞き入っていました。

なお、村上さん、千葉さんの発表内容は同会発行の「東磐史学」最新号に寄稿されています。

長生会が環境整備の奉仕作業

千厩地区長生会恒例の奉仕作業が18日、千厩市民センター、千厩保育園で行われました。

当日は、各長生会から38人が集まり、千厩市民センターと千厩保育園に分かれて、植木の剪定など環境整備作業に汗を流しました。

地域行事等の担い手不足が叫ばれているなか、長生会の皆さんがこの作業を毎年継続していることは、地域にとってたいへんありがたいことです。

みなさんも身の回りで、「できること」を少しずつ、続けてみませんか？

